行事報告書(地域イベント)

報告者　松本 茂夫

行事名	ぷらざこむ親子ふれあい工作会
実施日時	2025 年(令和 7 年) 8 月 2 日(土)　10:00-15:00　　天候　晴れ（酷暑）
場所	ぷらざこむ１　2 階 21A、21B 会議室
MNC スタッフ	計 14 名　　工作会 1 班　中尾、牛塚、新宅、上條、仲谷 2 班　沼田、大地(敬)、木村(良)、足立 3 班　笠間、森本(泰)、石堂、藤田、松本
来場者	計 80 名（26 組） 午前　(10:00～12:00)　10 組 30 人(子ども 18 人、大人 12 人) 午後　(13:00～14:30)　16 組 50 人(子ども 27 人、大人 23 人)
報告事項	1.　今回、企画・準備した工作品は以下 3 点です。 ①　竹で作る動く工作物　　(1 班担当) ②　ストラップ工作　　(2 班担当) ③　押し花･飾り「栞(しおり)」(3 班担当) 2.　イベント当日の概要 ・前年同様、午前･午後 各 15 組を募集したが、当日までの事前申込は、午前･午後合わせて 12 組･34 名と昨年より 3 組増えるも猛暑の影響で午前に集中し午後の申込は 1 組だけ。 ・ただ、昼前から 3 階でここ「宝塚ﾎﾞﾗﾝﾀﾘｰｾﾝﾀｰ」を中心に数社共催の大規模なイベントに参加していた親子 15 組が私たち工作会に一斉に来場。結果、午後も大賑わいとなった。 ・今回も、イベントの事前 PR 活動として、「宝塚ﾎﾞﾗﾝﾀﾘｰｾﾝﾀｰ」の機関誌への開催案内掲載、「ぷらざこむ」掲示板へのチラシ掲示。また、周辺児童館･こども館･図書館等へのチラシ配布を実施した。結果は、応募数は昨年より 3 組増え、また配布チラシを見て来場された親子も予約申込 11 組中、7 組と 3 組増えた。また武庫ネイチャークラブのホームページで今回のイベントに応募の方も 1 組おられ、広報の重要性と効果は着実に増加している。 3.　反省事項（課題） ・スタッフの人数不足で対応に終始した。(午前 12 名、午後 13 名→各班 3～4 名、受付 1 名) ・猛暑のため今後は午後を止め、午前に一本化(時間帯拡大、前半/後半毎募集)等 検討･要。 ・午後、当日参加者が集中したため工作数を 1 つに限定。そのため一部不満の声もあった。 ・今後は、当日開催される他イベントの情報を入手し予め対応を準備しておく必要がある。 ・一部材料不足:竹工作で特にレーシングカーに人気が集中し早々に材料がなくなった。 ・その他:材料のシール外しが子どもには難しかった→パウチ(ﾗﾐﾈｰﾀｰ機)採用も検討･要。
担当部門記録	・アンケートの結果　　回収　26 枚（全回収） 回答内容 1）イベント情報を何で知ったか 掲示板 2、児童館など施設配布チラシ 7、武庫ネイチャークラブのホームページ 1、ボランタリーセンター(zukavo)の機関誌 2、当日のイベント会場で 13、無回答 1 2）住まい　宝塚市内 25　、西宮市ほか 1 3）感想　楽しめた 24、また来てみたい 13　（工作が難しい、地待外れ等の回答ゼロ） 4）工作数　3 種類(全て)10、 2 種類 4、　1 種類 12 5)コメント記述 6 件（以下、抜粋）　　・とても楽しく工作ができました。 ・今回で 4 回目。毎回楽しみにして参加しています。素敵な作品ありがとうございます。 ・子供に工作を教えて下さり、とても楽しい良い時間をありがとうございました。ＭＮＣのホームページでイベントを知ることができると分かり、また参加させて頂きたいです。 ・押し花･1 種類だけ作ったが、数に制限がなければ、全てやりたいぐらい、魅力的でした。 ◎＜酷暑の中、事前の材料準備ならびに当日スタッフとして参加、対応していただきました工作会メンバーの皆様、本当にお疲れ様でした。心より感謝申しあげます。＞

・当日の「親子ふれあい工作会」風景

① 竹で作る動く工作物（レーシングカーほか）

② ストラップ工作

③ 押し花 飾り（しおり）

・子どもたちの表情

独創性（押し花を砕いて作品作り）

真剣そのもの（見落とさない！）

作品で楽しく遊ぶ ！

「ボク達が作ったヨ！」

（以上）